

## 『改革の視点』に対するコメント

関耕平（せきこうへい） 島根大学法文学部講師

\*これまでの財政運営の失敗をまずは認めること：普通建設事業費

### 1.【収入】における改革の視点：

地方交付税などの財源の充実に向けた国に対する働きかけ

良：コメント 『地方分権』は現代の地方財政問題を解決する指針だろうか？

#### 1-1 『分権改革』の帰結

三位一体改革・・・補助金・**交付税**の削減、地方への税源移譲を同時に行う

「財政健全化策」と「分権改革」との合成 三位一体改革

結局、どのような帰結となったか？

成果 3兆円の税源移譲の実現

問題点 国庫補助・負担金の補助率引き下げ手法の多用 「金は出さない、口は出す」

移譲された財源は裏負担に動員されるだけに

問題点 既存補助金の交付金化 新たな政府間財政関係の形成、国による統制の可能性

問題点 財源保障のトータルバランスが地方にとって厳しくなる

税源移譲に結びつく補助金改革額 3.1兆円

税源移譲に結びつかない補助金額 2.1兆円(一部は交付金化で、トータル1.3兆円減)

4.4兆円の補助・負担金の削減

地方交付税の削減2.7兆円 (臨時財政対策債含めると5.1兆円という試算もある)

国から地方への財源保障は、国庫補助負担金と**地方交付税の縮減**で、約7.5兆円の減少

実現した税源移譲は約3兆円

**トータルバランスとして 地方財政が -4.5兆円**

「地方のお金を吸い上げて国の財政再建へ」という構図が鮮明

#### 1-2 地方自治（地方分権ではなく）へむけた「サード・ステージ」を実現できるか

ファースト・ステージ：1999年分権一括法：事務分担の見直し再編

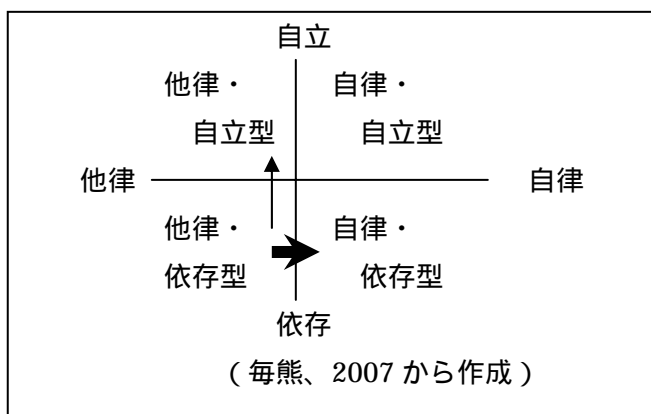
セカンド・ステージ：三位一体改革（不十分）

**サード・ステージ：財政調整・財源保障の実現**

東京都は税源移譲によって 07 年には 5000 億円の税収増：島根県 1 年分の予算に相当  
東京近郊の市：3-400 億円の増収：島根県が毎年なんとかしなければと躍起になっている額

### 1-3 くたばれ地方「分権」改革？！

地方自治擁護のための財源充実に向けた国への働きかけ  
カネよこせ！！：(他律・依存型から自律・依存型へ)



「カネよこせ！」という主張をするにあたってのいくつかの前提および注意点  
自己改革と地方自治の実践；『小さな自治体』における創意工夫を参考に  
泰阜村・松島村長による財源保障の要求

地方行政改革を国からの交付税削減の口実にさせない

(海士町)

都市と農村との対立にならないように注意 cf)両税委議論の失敗

[ふるさと納税]による国の財源保障責任放棄への警戒

### 1-4 「カネよこせ！」という主張に説得力を持たせるためにはどうするか？

うけとるカネは、「ナショナルミニマム確保」のための経費である

= 「県民生活の防波堤としての県財政の役割」が発揮されているか？

「支出」における改革の視点で詳細に

県が「地方税の増収を図る！！」と強調していないことは高く評価できる：

「自立」への幻想を持たないことが重要

cf)戦後直後、地方分権・地方自治の名の下に・・・魚網への固定資産課税、犬猫税  
大衆課税化(貧しいものへの重い課税)

地方税増収・自主課税の努力 = 現代版犬猫税は、県民生活の圧迫を招く危険性がある

## 2.【支出】における改革の視点：

全ての事業についての聖域を設けない徹底した見直し

不可・追試：コメント 理念を持って、「きれいにやせる」ことが重要

### 2-1 「第二の夕張」の意味

ナショナルミニマム切り下げの実験場

行政リストラの先行を促す「脅し」：行政サービスの低下と住民負担増の容認へ？

まだ他にも財政指標がひどい自治体があるのに、どうして夕張が狙われたのか

理由：住民と行政との距離・乖離

：夕張において地方財政問題は「行政の問題」であって「住民生活問題」ではなかった

(島根県は?)

### 2-2 県財政 維持されて、県民生活 減ぶ？

どうして県民に当事者意識がないのか？

住民意識の低さ??、否、

住民生活が県財政で支えられていることに対する実感が無い

県による県民生活擁護の政策は十分であったのか？

理念のない『「聖域なき」構造改革』の果てに何が起こったのか

県による「聖域を設けない徹底した見直し」で何が起るのか？

「県財政 維持されて、県民生活 減ぶ」??

### 2-3 どのような理念でもって「きれいにやせる」か？

足を細く？ プロポーシオン維持？ 子顔？

どのような理念の下に「やせる」のかを明確にして県民に示すべきである

「聖域なき」の意味を問うこと：

どういう価値判断・価値軸で聖域をなくすのか？：ここが本質

きれいにやせるための理念について私案：

『県民生活の防波堤としての県財政』

\* ナショナルミニマム確保

・・・島根に住もうと東京に住もうと、日本に住まうものであれば、だれもが保障されてしかるべきサービスを確保すること

『県民生活の防波堤としての県財政』の実現によって住民からの支持を受けてはじめて堂々と「カネよこせ」と主張できるのではないか？

-----

参考文献

道上正寿・岡山県西粟倉村長（2007）「独立独歩 小さな村の挑戦」『都市問題』第98巻2号

每熊浩一（2007）「2つの「じりつ」ともう1つの道」『都市問題』第98巻2号

松島貞治・加茂利男（2004）『「安心の村」は自律の村：平成の大合併と小規模町村の未来：長野・泰阜村』自治体研究社